

やつしろ市議会だより

平成24年9月定例会



▲走水の滝（坂本町）・樅木のつり橋（泉町）

主な記事

◎9月定例会の流れ	2
◎各常任委員会報告	3
◎7月臨時会	4
◎質疑・一般質問（17人が登壇）	5
《特集》	
◆生産日本一「イグサ」を守る!!	11
◆委員会管外行政視察報告	12
◎9月定例会審議結果一覧	14
◎植原勉議員逝去	16
◎意見書提出	16
◎決算審査特別委員会設置	16
◎編集後記	16

第29号

平成24年11月1日発行

編集・文責
八代市議会
広報委員会

☎0965-32-5984
(市議会事務局)

9月定例会の流れ（会期23日間）

月 日	会議名	内 容
9月 3日（月）	本会議（提案理由）	・市長より平成24年度一般会計補正予算を含む議案13件が提案
9月10日（月）	本会議（質疑・一般質問）	<ul style="list-style-type: none"> ・17人が登壇し、議案及び市政について質疑・一般質問 ・13日（木）に市長より、1件の追加提案 ・各議案を関係常任委員会に付託
11日（火）	//	
12日（水）	//	
13日（木）	//	
18日（火）	経済企業委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・付託議案を各常任委員会で審査（継続審査となっている請願陳情含む）
19日（水）	建設環境委員会	
20日（木）	文教福祉委員会	
21日（金）	総務委員会	
25日（火）	本会議（討論・採決）	<ul style="list-style-type: none"> ・各常任委員会委員長より審議結果報告後、採決 ・市長より平成23年度各会計決算議案12件が追加提案 ・決算審査特別委員会設置 ・市長より、人事案件4件が追加提案され、採決 ・発議案第4号が提案され、採決 <p>※各議案の審議結果については、14ページを御参照ください。</p>

平成24年度一般会計補正予算

9億1708万8000円

○各種予防接種事業〔定期ポリオ〕 6455万7000円

平成24年9月1日から、従来行ってきたポリオ定期予防接種が、生ワクチンの集団接種から不活化ワクチンの個別接種に変更されることに伴うものです。

○まちなかづくり推進事業補助金 648万2000円

県が実施する「まちなかづくり推進事業」を活用し、旧本町一丁目商店街駐車場を本町二丁目商店街振興組合が運営する“ひこいちパーキング”として整備等を行うとともに、商店街活動に協力してもらうボランティアの募集を行い、イベント等を充実させ商店街の活性化を図るものです。

○第一中学校校舎耐震改修事業 1億768万7000円

喫緊の課題である学校耐震化事業において、25年度に改修工事を計画していた事業の中から、国の特定財源が24年度中に確保されることを受け、耐震改修工事費に要する経費です。

議案・請願・発議案など20件を議決

など

委員会報告

すべての議案を本会議できめ細かく審議することは効率的ではないため、本市議会においては、四つの常任委員会に付託され審議がなされています。これらの委員会で審査・調査を行った結果は、委員長から本会議において報告が行われます。

ここでは、九月二十五日に行われた委員長報告を抜粋して掲載いたします。

経済企業委員会

◆平成二十四年度八代市一般会計補正予算・第五号・日奈久温泉活性化事業について

問 行政としては、今回の事業を契機に波及効果を期待しているようだが、実際、日奈久旅館街の方々の盛り上がりというのが見えてこない中で、行政としての意気込みはどのようなのか

答 日奈久地域のハード面の整備については、これまで、まちづくり交付金等を活用し、おおむね完了している。一方、ソフト面においては、これまで、多岐にわたり実施してきたが、なかなか厳しい現状もあることから、今回、県との連携により、ソフト面の事業を計

画したところであり、行政と地元がともに危機感を持って、本事業を実施していきたいと考えている。

意見 事業に取り組む姿勢は理解できるが、事業実施に当たっては、日奈久の旅館組合だけの問題とせず、日奈久地域の住民も巻き込んだ取り組みとなることを期待する。

その他の主な質疑

- 商店街でイベントを実施することによる集客度合いと商店街活性化の主眼について
- 農業施設維持管理事業における、二見洲口樋門及び日奈久樋門の事業費の相違について



建設環境委員会

◆専決処分の報告及びその承認について（平成二十四年度八代市一般会計補正予算・第四号）・公共土木施設災害復旧費について

問 今回専決処分した災害復旧工事の発注方法及び費用の積算方法について

答 専決処分した災害復旧工事については、直ちに土砂の撤去を行うなど急を要するため、本市に指名登録のある業者のうち、施工能力があり、かつ、その地域に最も近い業者に緊急施工という形で、随意契約で発注している。費用の積算については、まず工事を依頼するときに市のほうで概算見積もりを行い、施工後に実際の土砂の処分量、施工期間等を考慮して、実質的な費用を積算し、入札形式を経て、契約している。

意見 緊急の場合については、近くの業者のほうで迅速に対応できると思うが、一つの業者に工事依頼が偏ることなく、市内業者が何らかの仕事に携われるような配慮をお願いしたい。

その他の主な質疑

- 災害復旧費の先議での対応について

文教福祉委員会

◆平成二十四年度八代市一般会計補正予算・第五号・第一中学校校舎耐震改修事業について

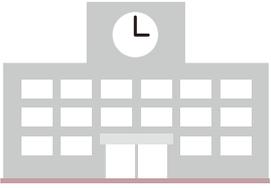
問 第一中学校を除く、耐震改修の必要な物件数とその完了時期について

答 六十九棟の計画のうち工事中のものが十二棟で、今回の工事分を除くと、残りの物件は五十六棟となる。これらの完了時期は、学校耐震化計画の期間満了となる、平成二十七年を予定している。

その他の主な質疑

○認知症対応型共同生活介護グループホームが三力所追加整備されることによる待機者解消の見込みについて

○介護従事者処遇改善臨時特例基金解散による介護従事者の処遇改善への影響について



総務委員会

◆平成二十四年度八代市一般会計補正予算・第五号・歳入について

問 本年度の特例公債法案の成立のめどが立っていない中、本市の財政に与える影響とその対応について

答 特例公債法案の未成立により、地方自治体としては、まず地方交付税の配分に大きな影響が生じることになるが、都道府県レベルでは地方交付税の支払い遅延があっているものの、比較的財政基盤の小さい市町村レベルでは予定どおりの額が交付されている。また、そのほかの補助金についても、基本的に年度末に交付されるものがほとんどであり、現時点で、同法案の未成立による影響は想定していないが、年度末まで、その推移を見守っていきたいと考えている。

その他の主な質疑

○施設園芸緊急再生対策事業補助金の緊急性について

○今回専決処分した災害復旧費の執行状況について

七月 臨時会

去る七月二十五日の一日間、臨時会が開かれ、市長から議案二件が上程されました。

今回の臨時会は、補正予算及び補正予算の専決処分の報告及びその承認についてであり、審査の結果、補正予算は原案可決、専決処分の報告及びその承認については承認されました。

また、任期満了となる農業委員会委員についても、四氏の推薦を決めました。

◆平成二十四年度八代市一般会計補正予算・第三号

○補正予算額 二億八千九十万円

強い農業づくり交付金事業等の補助内示に伴うもの及び梅雨前線豪雨で発生した山間部での土砂崩れなどにより被災した市道等の復旧を早急に図るための経費です。

◆専決処分の報告及びその承認について（平成二十四年度八代市一般会計補正予算・第二号）

○補正予算額 六千二百八十万円

豪雨で被害を受けた市道、林道及び河川などを応急的に復旧した経費です。

◆農業委員会委員の推薦について

石岡孝士氏、井戸美智子氏、武原祐子氏、山本實氏の推薦を決定。

質 疑

一 般 質 問



議案に対する質疑と市政の各般にわたる一般質問は、9月10日から13日までの4日間、17人が通告・登壇し、幅広い活発な議論が展開されました。

行政関連



小 菌 純 一

質問通告

○クルーズ客船寄港への準備状況について
○公務員の不祥事について

◆公務員の不祥事について

問 本市における不祥事に係る未然防止の取り組みと、不祥事が発生した場合の処分基準、また、処分までの流れについて問う。

答 総務部長 「八代市職員のコンプライアンス指針」や「八代市職員の懲戒処分等に関する基準」を職員へ周知するほか、ハラスメント、多重債務問題等に係る研修を実施している。本市では、他市に先駆けて前記処分基準を施行し、厳しく対応している。処分量定等は、市長の諮問に応じ、「八代市職員賞罰等審議会」で審議され、市長が最終的に決定している。今後とも、市政運営全般に対する市民の信頼を失墜せぬよう、強い決意を持って不祥事の未然防止に取り組んでいく。



質問通告

○公共施設内禁煙について
○観光行政について



前 垣 信 三

◆公共施設内禁煙について

問 受動喫煙による健康被害を防止する観点から、公共施設内での対策について問う。特に、県内では八代市を含む四市のみが実施していない。学校施設内全面禁煙に向けた取り組みで一部の喫煙教員への気遣いも必要である。大多数の教員や、最優先すべき児童生徒を受動喫煙の被害から守り、健康に対する配慮をすべきであると思うが、教育部の方針を問う。

答 健康福祉部長・総務部長・教育部長 健康増進法に基づき、市関連施設への全面禁煙依頼やホームページ等で市民に受動喫煙防止を周知している。今後禁煙に関する啓発や支援に取り組む。本庁舎は建物外に喫煙室を設けており、議会も含め建物内は全面禁煙になっている。また支所庁舎についても建物内は全面禁煙となっている。学校は、未成年者の喫煙防止教育を担う教育施設であるため、来校者・教職員の協力を得て平成二十五年度末をめどに学校敷地内全面禁煙に向けた取り組みを推進していく。



大倉 裕一

質問通告

- 会派合同の施策提言について
- 平成二十四年梅雨前線による豪雨災害について
- 子育て支援策について
- 生活保護について

◆ 会派合同の施策提言について

問 平成二十二年四月から、もつと開かれた議会を指さすと、会派を超えて議会報告会に取り組んできた。全校区での開催を終え、これを機に、いただいた意見や要望をもとに、十四項目にまとめ、八月十六日市長に提出した。市長の受けとめ方と今後の方針を伺う。また、現在総合計画後期基本計画が策定中である。提言内容の反映について担当部長に伺う。

答 市長・企画戦略部長 二年五カ月間にわたり、市内二十一校区で四十六回の議会報告会を開催されたことについては、大変なエネルギーを必要とし、議員としての使命感と真摯な取り組みに大変感動した。その熱き思いの詰まった「市民の声」を報告会の集大成として、八月十六日に市へ提言をいただき、早速、翌日には、部長会を開き、十四項目を速やかに精査するように指示した。今後、市政にどう反映できるかを検討するとともに、後期基本計画では、施策提言も踏まえ、多くの市民の意見を反映したい。



村上 光則

質問通告

- 球磨川萩原堤防地先の治水対策について
- 市道大村町竹原町二号線の臨港線から労災病院における通行の安全確保について
- 第一井上踏切の移設について
- スポーツ公園を利用したスポーツ大会の誘致について
- 新幹線騒音問題について

◆ 新幹線騒音問題について

問 ことし三月の新幹線ダイヤ改正以後、新幹線の速度が上がったことにより、沿線住民から騒音等の苦情が多く寄せられている。これまでどのような対策が行われ、どのような説明を住民に対して行われてきたのかを伺う。また、住民の方々からの要望等に対しては、引き続き誠実に対応していただくよう鉄道運輸機構に対して申し入れる考えはないか伺う。

答 企画戦略部長 鉄道運輸機構により、これまで全線開業に合わせた防音壁かさ上げなどの騒音対策が行われてきた経緯がある。現在、これまでの防音工事結果を踏まえた騒音・振動測定が実施されており、測定結果については地元住民より調査終了後の説明会の要望がなされている状況である。また、本市においては一部地域において環境基準を超過した箇所も見受けられることから、本年度内の環境基準の達成と住民への丁寧な対応を鉄道運輸機構に申し入れている。



田中 茂

質問通告

- 合併特例債及び過疎法について
- 郡築地区の排水対策と関連排水対策について

◆ 合併特例債及び過疎法について

問 市町村合併に際し、国の支援策の一環として合併特例債がある。当初は十年の適用であったが、五年間延長し、十五年となった。そこで、合併特例債の活用限度及び合併協議会で活用額の決定、また、どのような事業にどの程度の活用があったのか今後の活用策について伺う。

合併特例債を活用した市庁舎の改築の考えはないか、市長に伺う。

答 総務部長・市長 合併特例債の活用額については合併協議会において、発行可能額である四百一億八千万円のうち百六十一億八千三百万円を活用することが確認されている。これまでよかとこ物産館やばんぺい湯など本定例会への提案分を含め約八十四億三千万円を活用している。今後、活用基準を満たす事業については積極的に活用していきたい。本庁舎の建設の財源としては大変有利な地方債であり合併特例債を活用できる期間を視野に入れ、一歩踏み込んで検討する時期に来ている。



笹本 サエ子

○MV22オスプレイの普天間基地配備と

県内低空飛行訓練問題について

○九州新幹線騒音・振動問題について

○ウインズ日奈久進出後の「効果」と「課題」の検証について

質問通告

◆MV22オスプレイの普天間基地配備と県内低空飛行訓練問題について

問 構造的な問題があるため操縦が難しく、山間部を低空飛行する際は気流の影響で墜落を起こしやすいオスプレイを普天間基地に配備し、沖縄本島全域及び日本全土で低空飛行訓練の計画がある。八代市上空が訓練ルートに入っていることへの認識と、住民の安全を守る立場である市長の考えを伺う。

答 市長 七月には蒲島熊本県知事や全国知事会で、オスプレイの安全性が確認できない現状においては受け入れられない旨の発言及び決議がなされている。モロッコやフロリダ州での事故は人為的なミスが原因であるとの調査報告がなされたが、その後もノースカロライナ州では市街地に緊急着陸している。このような現状ではオスプレイの安全性が確認できたとは言えず、市民の安全を守る立場から、八代市上空エリアでの飛行訓練を容認するわけにはいかない。



増田 一喜

○熊本やつしる食堂について

○客船「コスタ・ビクトリア」の寄港による経済効果について

○有害鳥獣被害防止対策について

質問通告

◆有害鳥獣被害防止対策について

問 中山間地において、有害鳥獣による農作物や林作物への被害が年々増加しているとのことである。被害は、地域一帯に及ぶこともある。例えば、地域内の農地がある程度のみとまりとして柵で囲うなどの対策が必要と考える。本市での有害鳥獣被害防止対策の補助事業の内容はどのようなものか。また、地域全体で被害防止する対策は実施しているか問う。

答 農林水産部長 本市では、農業者個人を対象に、有害獣の侵入を防止する電気柵や防獣ネットなど防護柵の購入経費の二分の一（上限二万円）を補助する八代市農作物有害獣防護柵設置事業を実施している。また、八代市有害鳥獣被害対策協議会が主体となり国の交付金を活用して、三戸以上の受益農家が参加する一定地域を対象に、金網柵など比較的頑丈な侵入防護柵を一体的に設置する場合に、資材購入費の一〇〇%を補助する鳥獣被害防止総合対策を実施している。



堀口 晃

○市立病院の老朽化問題と耐震化について

○市立病院改革プラン策定の成果と今後の課題について

質問通告

◆市立病院のあり方検討会について

問 平成二十三年度市立病院の決算では、約四千四百万円の赤字であり、累積赤字も四億二千四百四十万円と膨れ上がっている。このような事態を受け昨年十一月に医療関係者・学識経験者・地域住民等で構成する市立病院あり方検討会を設置し、検討され、四月に提言書が提出されたところである。提言書を受けて市立病院が取り組む最重要課題は何か問う。

答 市立病院長 市立病院あり方検討会からの提言書を受け、市として早急に改革に取り組むため、庁内委員による「市立病院あり方プラン検討委員会」を発足させた。検討の結果、今後の方針として、①病床利用率向上や平均在院日数の短縮による病院収支の黒字化、②医師の確保、③地方公営企業法の全部適用を二十六年以降へ見送る、④施設の耐震診断の実施の四項目を重要課題とし、提言にもあるように今後五年間で黒字経営ができるよう最大限努力する。



百田 隆

質問通告

○平成二十三年度本市高校生の就職状況について

○高校生の就職支援制度について

○高田公民館改築について

◆**高校生の就職支援制度について**

問 昨年の本市高校卒業生の就職希望者数は四百十四名に対し市内への就職者数は百三十七名であった。全体から見ると三三・六％であり少ない数値である。このことが本市の人口減少の一因となっていると思う。市内への就職促進のため県のキャリアサポート事業、国のトライアル雇用が活用されているが、本市の就職対策はどのようになっているかを問う。

答 **商工観光部長** 新卒者の受け皿となるよう、市内の約二百事業所に求人要請を行っている。また、高校卒業予定者と地元企業が参加する高校生就職促進会を開催している。昨年は百二十九名の生徒、二十五事業所が参加し、地元企業への就職に向けた機会となっている。その他、就活応援セミナーやインターシップ受け入れ支援等も行っている。今後関係団体と連携し、高校生に地元企業を知ってもらい、地元に残る機会がふえるよう取り組んでいく。



前川 祥子

質問通告

○市立病院の財政状況について

○市立病院改革プランの進捗状況について

○市立病院のあり方検討会の提言に対しての今後の方針について

○大島地区石油基地の現状について

○県の政策である木質バイオマスエネルギー利用状況について

◆**県の政策である木質バイオマスエネルギー利用状況について**

問 熊本県による木質バイオマスエネルギー利用が始まるが、林業振興の観点と農業の施設園芸における加温機利用など、どのような計画になっているのか。

答 また木質バイオマスの利用が高まれば、ペレット工場が必要になると考える。そこで農林業振興策の一つとして、ペレット工場設置について、今後本市でも検討、準備する考えはないか伺う。

答 **農林水産部長**

木材価格の低迷により、切った木を運び出しても採算がとれないことから、林内に放置する「切り捨て間伐」が多い現状。これをペレットにして利用することで、林業及び山村地域の活性化が図られるとともに、森林整備が促進され、健全な森林の育成が期待される。今年度は、農業用の木質バイオマス加温機の効率的な使用や燃料供給、燃焼灰の処理・回収体制について実証する計画。八代市でも、ペレット工場設置に積極的な取り組みをする企業ががあれば、支援したい。



野崎 伸也

質問通告

○観光行政について

○本市の交通渋滞について

○ドッグラン施設の必要性について

◆**観光行政について**

問 労働局発表の七月度八代管内の有効求人倍率は〇・四八と県内では最低の状況であった。時勢の企業誘致が厳しい現状を踏まえ、観光客誘致による雇用創出を図ることも急務と考える。国も新成長戦略の一つとして、観光立国・地域活性化戦略を掲げ、それに伴う新規雇用五十六万人創出をうたっている。本市の観光振興と雇用創出についての認識を伺う。

答 **商工観光部長**

観光は、地域経済の活性化、雇用機会の増大等、サービス業、農林水産業、製造業等を初めとする市民経済のあらゆる領域にわたり、幅広くその発展に寄与するものであり、観光の果たす役割は、極めて重要であると認識している。

雇用の創出は、本市においても喫緊の課題であり、観光振興施策について、今後関係団体とより一層の連携を深め、一つ一つの施策を着実に、かつ効率的に推進し、観光振興による雇用の創出につなげたいと考えている。



藤井 次男

質問通告
○八代市政に対する市長の基本的な政策について
○農業活性化対策について

◆農業活性化対策について

問 古城町に農事研修センターが設置されていたときには、土壌分析は三年間で二千三百七十三件行われていたが、鏡町移転後の三年間では千七十三件と減少している。その減少した理由と土壌分析料を無料化できないか伺う。また、農協本所近くに農事研修センターの分所を設置することができないのか伺う。

答 農林水産部長 平成二十年度まで、農協が農事研修センターと比較して簡易な土壌分析を行っていたため、農事研修センターへの持ち込みが多かったが、同等の分析ができるようになった平成二十一年度から周辺農家が農協に持ち込むようになり減少した。無料化は、農協と一体となって三検体無料については、農協と一体となった経緯があり、来年度からの実施に向けて協議していく。農協本所近くへの農事研修センター分所の設置は農協でも土壌分析を実施しているため難しい状況である。



太田 広則

質問通告
○大雨時による常習化した冠水地域の排水対策について

質問通告
○樋門の維持管理と緊急時の対応について
○通学路の安全対策について
○新たな難視対策事業費補助事業について

◆大雨時による常習化した冠水地域の排水対策について

問 毎年のように降る豪雨によって、市内至るところで冠水をし、そのたびに緊張し、被害に遭っている市民がおられる。しかし、どんなに降っても冠水しないところと、必ず冠水するところの差がはっきりしてきており、冠水する箇所や地域は、既に完全に常習化していると考えられる。市の常習化した冠水地域に対する認識と把握、今後の早急な対策を問う。

答 建設部長 市が常習化した冠水地域として認識している箇所は、主なところとして、秀岳館高校前の市道中央線や、田中町の肥後銀行周辺及び臨港線を中心とした地域等がある。対策として、秀岳館高校前については、低い箇所への横断暗渠設置を行い、下流側に当たる、緑の回廊線沿いの雨水幹線排水路について、農業用排水路及び工業用水を含めて、総合的な調査測量を実施する。田中町周辺については、公共下水道事業古閑排水区の計画見直し（調整池等）を実施する。



庄野 末藏

質問通告
○市内の公園や小中学校の遊具について
○肥薩おれんじ鉄道の今後について

◆市内の公園や小中学校の遊具について

問 少子化による公園などの遊具使用が減少している中、遊具の安全点検と現在の状況。そして、今後の方針と予定について問う。また、学校関係に設置してある遊具等の安全確保と今後の取り組みについて問う。

答 建設部長・教育部長 公園では現在、日常業務の中で、可能な限り安全点検を行っている。今後は、現在行っている公園施設等の健全度調査の結果を踏まえ、施設の長寿命化計画を策定し、これに基づき施設の改築や維持管理を行っていきたくないと考えている。学校では、定期的に月一回程度の安全点検及び、正しい遊具の使い方等の指導も行っている。学校が行う点検とは別に専門業者による安全点検も二年に一回実施している。今後も安全点検を確実にを行い、安全確保に万全を期する。



教育 関連



幸村 香代子

- 質問通告**
- 人事政策について
 - 消費者行政について
 - 公民館図書室の充実について
 - 荒瀬ダム撤去開始に伴う本市の対応について

◆ 公民館図書室の充実について

問 本市には、図書館本館と、千丁町と鏡町に分館がある。そのほか、公民館に、図書分室と図書室を備えている。これから、住民自治が進む中で、公民館が拠点となっていく。そこで、分室や図書室を充実していくことが、地域の人が集う一つのツールになっていくと考えられる。執行部の考えを問う。

答 **教育部長** 図書館では、太田郷・高田公民館の図書館分室に各館約一千冊の図書を設置し、蔵書の確認と入れかえを行っている。図書館分室、公民館図書室の充実を図るためには、新たな図書の購入及び貸し借り等を行う管理者の確保が課題である。市民協働の認識が深まり、地域から人材の支援をいただければ、展開の可能性が広がると思われる。今後、市民ニーズの把握に努め、誰でも利用しやすい図書館の整備、図書館と公民館の連携を図り、図書環境の充実に努めていきたい。



西濱 和博

- 質問通告**
- 教職員の不祥事防止対策と内部通報制度のあり方について
 - 本市の教育現場で発生した教師の問題行動の内容及びその対応状況と今後について
 - 教育行政におけるコンプライアンス（法令遵守）と第三者委員会設置制度の新規創設について

◆ 教育行政におけるコンプライアンス（法令遵守）と第三者委員会設置制度の新規創設について

問 教育現場における法令遵守や当事者意識の欠落が取りざたされる中、文部科学省は「いじめ、学校安全等に関する総合的な取組方針」を公表し、第三者的な立場から学校を支援する機能を自治体の要望に応じて、全国に設置する考えを示した。教育全般の課題を担う常設の第三者機関の設置が社会的なニーズだと思いが、この提案に対する認識を問う。

答 **教育部長** 文部科学省の「いじめ、学校安全等に関する総合的な取組方針」は、第三者的立場から調整・解決する取り組み、外部専門家を活用して学校を支援する取り組みを全国二百地域で展開しようとするものである。この方針を前提として、第三者機関の設置について、教育行政全般を担う常設の機関設置の前に、本市における重要な課題であるいじめ問題対応を中心とした機関の設置に向け、積極的に検討していきたい。

環境 関連



橋本 幸一

- 質問通告**
- 環境センター建設について
 - ごみ不法投棄について
 - 太陽光発電事業の効果と今後について
 - 農林体験交流事業の状況について

◆ 太陽光発電事業の効果と今後について

問 平成二十一年度より地球温暖化対策を促進するため、太陽光発電システムを住宅用と学校施設に設置されているが、これまでの取り組み実績、その効果をどう把握されているか。また、市の補助を受けた方から提供されたデータ内容からどのような分析結果が出ているか問う。今後の太陽光発電補助事業についてどのような方向で取り組むのか問う。

答 **環境部次長・教育部長** 本年八月末時点で、住宅用については六百二十七件の補助を実施したところである。太陽光発電を導入された世帯では、導入前に比べ、電力使用に起因する温室効果ガスの約二割が削減されているなどの効果が得られている。今後、補助事業については、国の動きや市民ニーズ等を見きわめながら事業を推進していきたいと考えている。学校施設では、これまで五校に設置しており、今後は、新築の建物で校区内の小中学校のうち、いずれかに整備していきたいと考えている。

生産日本一「イグサ」を守る！！

◇現 状

八代市のイグサ栽培が始められて 500 年以上になり、本市のイ業は、全国生産量の約 8 割以上を占めているとともに本市農業の重要な基幹作物であります。しかし、国内における畳表の大幅な需要減少や海外からの安価な畳表の輸入等により、産地の価格が低迷し、作付面積の減少、栽培農家の減少と農家経営や地域経済に大きな影響を与えているところです。

また、平成 15 年に、ひのみどりの特徴に似た中国産の輸入畳表が見つかったことにより、苗が国外に持ち出されている疑念が浮上し、熊本県により輸入差し止め申し立てが行われました。また、平成 17 年には国内の畳表製造販売業者が、中国産「ひのみどり」を密輸入しようとしたとして、関税法違反の疑いで告発され、平成 18 年に熊本地裁で有罪判決が言い渡されたところでもあります。このような状況の中で、平成 21 年 6 月ごろより、中国で「ひのみどり」が多く栽培されているとの情報が、イ業関係者より寄せられたため、同年 11 月に関係団体が中国への現地調査を行い、作付確認をいたしております。



◆市議会としての取り組み◆

=== 八代市議会イ業振興議員連盟を設立 ===

◇設立目的

い草に関する知識を深め、い草、畳表の普及・啓発を図り、い業の健全な振興・発展に寄与するとともに、相互の親睦・連携を保ち、もって八代の繁栄に貢献することを目的とする。

◇活動内容

八代産いぐさを守るため、市内外を問わず、本連盟による現状分析や勉強会、そして国・県への要望活動を活発に実施しています。

■平成 24 年度 政府要望実績■ ～熊本県い産業を守る対策について～

◎要 望 日 平成 24 年 5 月 30 日（水）～ 31 日（木）

◎要 望 先 農林水産省・財務省・消費者庁

◎要望項目

1. いぐさ・畳表農家経営所得安定化対策事業による価格安定制度の継続と予算の確保
2. 中国産「ひのみどり」の違法輸入対策の強化
3. 国産畳表の表示推進とその支援
4. 国産畳表の需要拡大
5. いぐさ専用機械・施設の導入整備への支援



八代市とイ業関係団体の取り組み

中国産との差別化と産地偽装防止を目的に熊本県産畳表を証明する畳表には、生産者番号（生産者名）の記載された QR コードつきのタグがついています。



たあみ

経済企業委員会管外行政視察

◎視察日程 平成24年7月30日（月）～8月2日（木）

委員	百田 隆（委員長）	前川 祥子（副委員長）	太田 広則	田中 茂
	古嶋 津義	村上 光則	山本 幸廣	幸村 香代子

千歳市（北海道）

調査事項及び目的

○企業誘致の取り組みについて

千歳市においては、空港も隣接しており、毎年多数の企業が千歳市に進出し、大規模な工業団地化も進んでいることから、企業誘致に対する市の取り組み方、問題点等について学び、今後の委員会活動に生かすことを目的とする。

概要

駐留米軍の撤退に伴い、従事雇用者の救済のため団地を造成し、現在市内に10の工業団地を造成している。

委員所見

地理的条件は、異なるものの、市の職員が企業誘致の営業に徹しており、企業に対してサポートや、企業のニーズに即座に対応していた。今後の企業誘致に当たっては、企業と行政双方の信頼関係を強固にすることが必要と考える。



滝川市（北海道）

調査事項及び目的

○市立病院の運営について

全国的に公立病院の運営が厳しい中、滝川市においては、黒字経営であり、さらに近年建てかえも行われ、地域に密着した病院として市民からも信頼を得ているということから、病院経営等について調査を行うことを目的とする。

概要

昭和9年に町立病院として開院して、その後、改築・増築を行い現在に至っている。また、経営については、一般会計からの繰り入れは、行っていない。

委員所見

建てかえについては、免震構造を採用しており、院内の施設充実を図り患者への配慮を行っている。また、黒字化については、ドクターの充実により市民の75%が当院を利用している。本市においても、快適な環境整備や医師の確保が必要と考える。



上記のほか、北海道苫小牧市「まちなか再生総合プロジェクト」、北海道小樽市「観光基本計画」について調査を行い、今後の委員会活動に生かしたい。

建設環境委員会管外行政視察

◎視察日程 平成24年8月6日（月）～7日（火）

委員	田方 芳信（委員長）	堀口 晃（副委員長）	大倉 裕一	田中 安
	中村 和美	橋本 幸一	増田 一喜	松浦 輝幸

萩市（山口県）

調査事項及び目的

○萩・長門清掃一部事務組合新清掃工場整備・運営事業について
 萩・長門清掃一部事務組合は、新清掃工場整備・運営事業をDBO方式により行っており、事業の進め方、問題点等について学び、今後の委員会活動に生かすことを目的とする。^{※1}

概要

DBO方式により、清掃工場の設計・建設及び20年間の運営委託を民間へ一括して発注を行っている。

委員所見

萩・長門清掃一部事務組合は、DBOにおけるVFMが11.19%であった。本市においても総合評価のあり方及びVFMを今後さらに詳しく分析することが必要と考える。^{※2}



防府市（山口県）

調査事項及び目的

○防府市クリーンセンター整備・運営事業について
 防府市は、クリーンセンター整備・運営事業をDBO方式により行っており、事業の進め方、問題点等について学び、今後の委員会活動に生かすことを目的とする。

概要

DBO方式により、清掃工場の設計・建設及び20年間の運営委託を民間へ一括して発注を行っている。

委員所見

防府市の運営費は、マテリアルリサイクルセンターを含んで年間6億円である。本市はリサイクルセンターを含まず年間6億円の運営費を見込んでおり、その差は大きいと感じた。本市でも検討が必要と考える。



※1 DBO方式…公共が資金負担をし、設計・建設・運営まで民間に委託する方法

※2 VFM（バリュー・フォー・マネー）…公設公営と比較して、民間に任せただけ効果があるのかを数値化したもの（数値が高いほど財政負担を削減する割合が大きい）

平成24年9月定例会採決結果

議案名		議席番号	1	2	3	4
		審議結果	古嶋津義	増田一喜	松浦輝幸	前川祥子
市 長 提 案	◆決 算◆ (14件・うち12件は、継続審査)					
	議案第85号・平成23年度八代市水道事業会計決算	全	/	○	○	○
	議案第86号・平成23年度八代市病院事業会計決算	全	/	○	○	○
	議案第99号～同第110号・平成23年度八代市一般会計決算及び各特別会計決算11件	—				
	◆予 算◆ (3件)					
	議案第87号・平成24年度八代市一般会計補正予算・第5号	全	/	○	○	○
	議案第88号・平成24年度八代市介護保険特別会計補正予算・第1号	全	/	○	○	○
	議案第98号・平成24年度八代市一般会計補正予算・第6号	全	/	○	○	○
	◆事 件◆ (7件)					
	議案第89号・専決処分の報告及びその承認について (平成24年度八代市一般会計補正予算・第4号)	全	/	○	○	○
	議案第90号・専決処分の報告及びその承認について (平成24年度八代市簡易水道事業特別会計補正予算・第1号)	全	/	○	○	○
	議案第91号・八代広域行政事務組合の共同処理する事務の変更及び規約の一部変更について	全	/	○	○	○
	議案第92号・八代広域行政事務組合規約の一部変更に伴う財産処分について	全	/	○	○	○
	議案第93号・市道路線の廃止について	全	/	○	○	○
	議案第94号・市道路線の認定について	全	/	○	○	○
	議案第95号・財産の取得について	全	/	○	○	○
	◆条 例◆ (2件)					
	議案第96号・八代市防災会議条例の一部改正について	全	/	○	○	○
	議案第97号・八代市災害対策本部条例の一部改正について	全	/	○	○	○
	◆人 事◆ (4件)					
	議案第111号・人権擁護委員候補者の推薦について (本田京子氏)	全	/	—	—	—
	議案第112号・教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて (丁畑ひで子氏)	全	/	—	—	—
	議案第113号・教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて (広崎史子氏)	全	/	—	—	—
	議案第114号・公平委員会委員の選任につき同意を求めることについて (水本和人氏)	全	/	—	—	—
	◆請願・陳情◆ (1件)					
	請願第4号・八代市教育委員会管轄の公立学校の敷地内禁煙について	多	/	×	×	×
	◆発 議 案◆ (1件)					
発議案第4号・竹島・尖閣諸島をはじめとする我が国の領土・領海を守る処置を速やかに求める意見書案	多	/	○	○	○	

※人事案件の採決結果については、公表を現在検討中のため非公表



植原勉議員逝去

植原勉議員が、去る平成二十四年十月二日に逝去されました。享年六十五歳。

故植原勉議員は、平成十五年の初当選以来、建設環境委員会副委員長、経済企業委員会委員、市町村合併調査特別委員会委員、決算審査特別委員会委員を歴任するなど、約六年間幅広く市政の発展に貢献され、精力的に本市市議会議員として活動されました。ここに謹んで御冥福をお祈りいたします。

意見書

九月定例会において意見書案一件が提出され、原案のとおり可決し、国会及び関係行政庁へ送付しました。

◆竹島・尖閣諸島をはじめとする我が国の領土・領海を守る処置を速やかに求める意見書

決算審査特別委員会設置

平成二十三年度一般会計及び特別会計決算が九月定例会最終日の九月二十五日に上程されました。同日、委員十一人で構成する決算審査特別委員会を設置し、正・副委員長の互選を行い、調査は閉会中の継続審査に付しました。

なお、委員会の構成は、次のとおりです。

- | | |
|------|---|
| 委員長 | 中村 和美 |
| 副委員長 | 矢本 善彦 |
| 委員 | 鈴木田 幸一 田方 芳信
田中 茂 田中 安
友枝 和明 前垣 信三
前川 祥子 松永 純一
幸村 香代子 |

委員会開催日	内容
9月25日(火)	正副委員長互選
10月 3日(水)	決算審査
4日(木)	
9日(火)	
12日(金)	
18日(木)	
19日(金)	予備日

編集後記

朝晩が冷え込む本格的な秋になりました。この時期には体に変調を来すと伝えられています。市民の皆様におかれましては、病氣などされませぬよう、健康に御留意くださいますようお願いいたします。

さて、議会広報紙も回数重ね二十九号の発行の運びになりました。読みやすいよう議会広報委員会で数回の検討を重ね、皆様に「議会や議員の活動」のお知らせをしてありますが、まだまだ検討しなければならぬ部分もあるかと思えます。いずれにいたしましても皆様の御意見をお聞きしながらよりよい議会広報紙をつくっていきたいと思っています。今後ともなお一層の御理解と御協力をお願い申し上げます。

八代市議会広報委員会